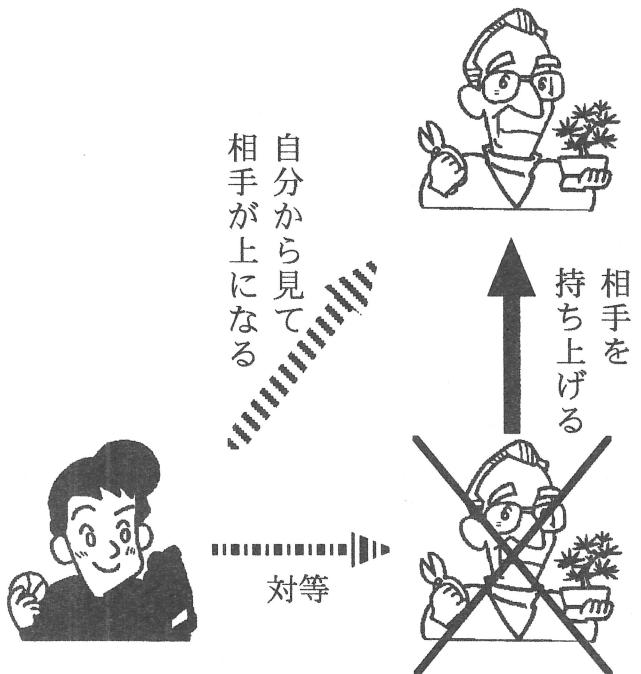


第一章　「」と「」の決まり　一　敬語

イ、尊敬語

そんけいご

「尊敬語」とは、他人や目上の人への動作につけて、相手を上にもちあげて、相手に対する尊敬を表すことばです。相手を上にあげることばなので、常に、尊敬をする側の人の動作につけれることはばです。



尊敬語には、次ページの表のように「尊敬の動詞」、「おうになる」「ごうになる」、「れる」、「られる」の三種類があります。

尊敬語を使う場合、「尊敬の動詞」の存在するものは、できるだけ「尊敬の動詞」を使います。ただし、「尊敬の動詞」は限られた動詞にしか存在しませんので、それがない場合は「おうになる」「ごうになる」を使います。「れる」「られる」はほとんどの動詞に使えますが、あまり美しい尊敬語ではありませんので、できるだけ「尊敬の動詞」あるいは「おうになる」「ごうになる」を使うようにしましょう。

4、「こちらに来るのはいつですか。」

5、ああじうぞ食べて。

6、田中さんはいつもていねいに話す。

7、おばさんは、ぼくに自転車をくれた。

8、校長先生は私たちといつしょに映画を見た。

9、「おじさん、どこへ行くのですか。」

10、「勉強はしつかりしましょう。」と先生が言った。

11、村田さんはみんなといっしょに歌つた。

12、佐藤さんは東北地方に旅行した。

13、角の家のおばあさんは、いつもほほえんでいる。

14、大臣は、選挙の応援に出かけた。



口、**謙讓語**
けんじょうご

「謙讓語」とは、自分や目下の人の動作につけて、その人を下にさげることによって相対的に相手を上にあげ、相手に対する尊敬を表すことです。

謙讓語は自分や目下の側の人を下げることばなので、常に、自分や目下の側の人の動作につけることばです。



対等



自分を
下げる

自分から見て
相手が
上になる



謙讓語には、次ページの表のように「謙讓の動詞」、「お（う）ぐに
なる」「お（う）ぐ申し上げる」「お（う）ぐいただく」の3種類があ
ります。

謙讓語を使う場合、「謙讓の動詞」の存在するものは、できるだけ
「謙讓の動詞」を使います。ただし、「謙讓の動詞」は限られた動詞に
しか存在しませんので、それがない場合は「お（う）ぐ申し上げる」
「お（う）ぐいただく」を使います。

問題二、前ページの表を見て、ぼう線部のことばを謙譲語に直しなさい。できるだけ、「謙譲の動詞」を用いて答えなさい。

1、あなたのお話を聞きたい。

2、わたしは校長先生に書いた。

3、明日、四国のおじさんを訪問する。

4、たらう君はおばさんの家に行つた。

5、あなたのいのう本を読みます。

6、昨日の出来事あなたに話します。

7、明日もまた来ます。

8、それは私がしますので、そちらでお休み下さい。

9、私は、今日は家にいます。

10、先生のお書きになつた絵を、ちょっと見ます。

b、「です」の使えないもの

「です」は「だ」のていねい形ですので、「だ」がつかえない場合は「です」もつかないとするのが、一番わかりやすい考え方です。

きれいです○ → きれいだ○

美しいです× → 美しいだ×

「きれいだ」^{ていねい}の丁寧形は「きれいです」です。また「美しい」の丁寧形は「美しいございます」が正しく、「美しいです」は誤りです。
（「美しいです」は慣用的に使われていますが、正確には正しくありません。）^{かんよう}

よかつたです× → よかつただ×
ないです× → ないだ×

「美しいです」や「良かつたです」は、正しくは「美しいございました」、「良うございました」となりますが、現在ではなかなかかた苦しくて使いづらいことばです。

そこでこれらは、「美しいと思います」や「良かつたと思います／良いと思いました」など「思います」「感じます」「考えます」を接続すると、きれいな日本語になります。また「美しいのです」や「美しいようです」などと「の」「よう」などを入れると、正しい用法になります。文の前後関係から考えて、最も適切な方法を用いて、美しいことばづかいにしましょう。^{できせつ}

また「ないです」には「ありません」、「だつたです」には「でした」という正しい日本語がありますので、そちらを使うようにしましょう。

問題五、次のぼう線部のことばづかいが、正しければ○を書き入れなさい。まちがつていれば正しいことばづかいに直しましょう。

1、夜空がとてもきれいです。

2、教室がとてもきたないです。

3、遠足はとても楽しかつたです。

4、お祭りははなやかでした。

5、朝は一番さわやかです。

6、試合に負けてくやしいです。

7、でも試合の後はな「やかでした。

8、晴れた日の空は明るいです。

9、花子さんの^{くわい}配^{ぱい}りは細^{ほそ}やかです。

10、高原の朝はすがすがしいです。

11、ぼくの兄はとても背が高いです。

12、今朝の海はとても青いです。

13、街はにわかだつたです。

14、ぼくはマラソンで優勝したです。

15、これが最も長いです。

第一章 ジュリの決まりー副詞の呼応

副詞とは、ものとの様子を表すことばで、活用しないもの（語尾の変化しないもの）のことです。また主に動詞・形容詞・形容動詞など述語になれることばにかかります（を修飾します）。副詞の中には、ある副詞に対応して、その後に決まった言い回しをするものがあります。その対応関係を「副詞の呼応」と言います。

例一、わたしは決して宿題を忘れない。○

「決して」という副詞には、後に「くない」など否定を表すことばが入らなければなりません。

例二、わたしは決して宿題を忘れる。×

おかしな文になりましたね。

問題八、ぼう線部のことばに注意して、次の□にひらがなを一字ずついれて、意味の通る正しい文にしなさい。

1、決して外へ出□ように。

2、そちらの冬は、やせ寒いこと□。

3、おそらく君は、しょうらい将来医者になる□。

4、はたして、いつ宿題が完成するだろう□。

5、このままでは、とうてい宿題は完成□だろう。

6、おさか君は、宿題を忘れたわけではある 。

7、じゅうして私の言うことがわからないの 。

8、ポチは必ず帰つてくるに 。

9、たぶん明日は雨になる 。

10、もし時間がとれ 、あなたと会いましょう。

11、まるで花の 美しい人だ。

12、じうか願いを聞いて 。

13、たとえ何があつ 絶対にやりとげる。

14、このふとんで寝るとあたかも雲に乗つた 。

気がする。

15、なぜあなたは行つてしまつたのだろう 。

16、よもや遅刻するようないとはある 。

17、必ずしむ、赤い実が甘いとは言え 。

18、じゅうやら明日は晴れ 。

19、京都にもぜひ一度おいで 。

新二編　レポートの決まり二

可能の「れる」「られる」

可能の助動詞「れる」「られる」の用法

a、五段活用とサ行変格活用以外の全ての動詞には「られる」が接続する。

例、来る→来られる（来れるX） 見る→見られる（見れるX）
食べる→食べられる（食べるX）

b、サ行変格活用の動詞には、「れる」「られる」は接続しない。（「できる」に変形する）

例、する→できる 勉強する→勉強できる

c、五段活用の動詞には「れる」が接続する。ただし五段活用の動詞には、別に「可能動詞」が存在する。

| 五段動詞+れる | 可能動詞 |
|-------------------|------|
| 例、笑う ↓ 笑われる ↓ 笑える | |
| 渡す ↓ 渡される ↓ 渡せる | |
| 走る ↓ 走られる ↓ 走れる※ | |

(※ 「走れる」は「走+れる」ではなく、可能動詞である。従つて「ら抜き言葉」ではない。)

◆簡単な見分け方

a、サ行変格活用の動詞には可能の助動詞の「れる」も「られる」も接続しないので、考えなくとも良い。

b、残りの動詞の内、「れる」が接続するのは五段活用だけ。したがつて、ほとんどの動詞には「られる」が接続する。

語尾が「れる」になるのは、語尾がラ行の五段活用のものだけです。もし五段活用でなければ、全て「られる」が接続します。五段活用かどうかは、「しない」に接続してみて、語尾が「ア段」になれば五段活用。そうでなければ五段活用ではありません。

笑う→笑わ+ない 笑わー WAー
のばすと「ア」になる 五段活用
食べる→食べ+ない 食べー BEー
のばすと「H」になる 五段活用でない (必ず「ひれる」が接続)

◆おちがつた使い方

a、ら抜きことば

「～られる」の「ふ」が抜けたもの

例、食べれるX → 食べられる○

寝れるX → 寝られる○

b、ら入れことば

可能動詞に余分な「ら」を入れたもの

例、飲めるX → 飲める○

行けるX → 行ける○

※五段活用の動詞（「～ない」に接続すると、活用語尾が「ア段」に変化するもの 例、笑う→笑わ+ない）

※サ行変格活用の動詞（する、～する）

りへつで覚えるより、練習で正しい使い方になれましょう。

問題九、次の文のせつ線部の「じせいで、おちがつたりじせいでかいをしているものは正しく書き直し、正しい場合は○を書きなさい。

1、“せいで”にんじんがきらいで、食べれない。



2、テレビの前に立つたら、テレビが見れないだろ。

